

様式第1号の2(第4条の3関係)

(第1面)

産業廃棄物処理計画(変更計画)書

令和5年 5月 30日

(宛先) さいたま市長

提出者

住 所 東京都千代田区神田美土代町1番地

氏 名 青木あすなろ建設株式会社 東京建築本店
常務執行役員本店長 江島 泰

電話番号 03-5439-8523

さいたま市廃棄物の処理及び再生利用に関する条例第12条の2第1項の規定により、令和5年4月1日～令和6年3月31日(1年間)年度の産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を(作成)・変更したので、提出します。

事業所の名称	青木あすなろ建設株式会社 東京建築本店
事業所の所在地	東京都千代田区神田美土代町1番地
計画期間	令和5年4月1日～令和6年3月31日(1年間)
変更の概要	変更なし

当該事業所において現に行っている事業に関する事項

①事業の種類	D建設業 [06-総合建設業]
②事業の規模	全社 77,915 百万円 東京建築本店 27,978 百万円
③従業員数	全社: 928人 東京建築本店: 277人
④産業廃棄物の一連の処理の工程	別紙①の通り

(第2面)

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項			
(管理体制図)			
別紙②の通り			
産業廃棄物の排出の抑制に関する事項			
①現状	【前年度 (R4年度) 実績】		
	産業廃棄物の種類	廃プラスチック	紙くず
	排出量	0.35 t	2.55 t
	(これまでに実施した取組) 利用や他現場で発生した再生資源の積極活用に努め、排出の際には再資源化施設の活用に努めた。		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	廃プラスチック	紙くず
	排出量	0.33 t	2.42 t
	(今後実施する予定の取組) 資源の現場内利用を継続するとともに、他現場 (作業所) との情報交換を行う事により、効率的な再生資源活用に努める。また、排出する際には引き続き再生資源化施設の活用に努める。		
産業廃棄物の分別に関する事項			
①現状	(分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) 廃プラスチック、木くず及び金属くずは、それぞれはの発生現場に専用のコンテナ等を設置し、分別に努めている。		
②計画	(今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) 建設混合廃棄物の発生現場で分別を徹底し、再生資源化の効率向上に努める。		

(第2面)

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項			
(管理体制図)			
別紙②の通り			
産業廃棄物の排出の抑制に関する事項			
①現状	【前年度 (R4年度) 実績】		
	産業廃棄物の種類	廃石膏ボード	そのほかがれき類
	排 出 量	1.95 t	25.16 t
	(これまでに実施した取組) 利用や他現場で発生した再生資源の積極活用に努め、排出の際には再資源化施設の活用に努めた。		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	廃石膏ボード	そのほかがれき類
	排 出 量	1.85 t	23.90 t
	(今後実施する予定の取組) 資源の現場内利用を継続するとともに、他現場 (作業所) との情報交換を行う事により、効率的な再生資源活用に努める。また、排出する際には引き続き再生資源化施設の活用に努める。		
産業廃棄物の分別に関する事項			
①現状	(分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) 廃プラスチック、木くず及び金属くずは、それぞれはの発生現場に専用のコンテナ等を設置し、分別に努めている。		
②計画	(今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) 建設混合廃棄物の発生現場で分別を徹底し、再生資源化の効率向上に努める。		

(第2面)

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項			
(管理体制図)			
別紙②の通り			
産業廃棄物の排出の抑制に関する事項			
①現状	【前年度 (R4年度) 実績】		
	産業廃棄物の種類	アスコンがら	建設混合廃棄物
	排 出 量	5.92 t	8.58 t
	(これまでに実施した取組) 利用や他現場で発生した再生資源の積極活用に努め、排出の際には再資源化施設の活用に努めた。		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	アスコンがら	建設混合廃棄物
	排 出 量	5.62 t	8.15 t
	(今後実施する予定の取組) 資源の現場内利用を継続するとともに、他現場 (作業所) との情報交換を行う事により、効率的な再生資源活用に努める。また、排出する際には引き続き再生資源化施設の活用に努める。		
産業廃棄物の分別に関する事項			
①現状	(分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) 廃プラスチック、木くず及び金属くずは、それぞれはの発生現場に専用のコンテナ等を設置し、分別に努めている。		
②計画	(今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) 建設混合廃棄物の発生現場で分別を徹底し、再生資源化の効率向上に努める。		

(第3面)

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項			
①現状	【前年度（R4年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	廃プラスチック	紙くず
	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	— t	— t
	(これまでに実施した取組) これまで自社で再生利用をおこなったことはない。		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	廃プラスチック	紙くず
	自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	— t	— t
	(今後実施する予定の取組) 引き続き自社で再生利用を行う予定はない。		
自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項			
①現状	【前年度（R4年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	廃プラスチック	紙くず
	自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	— t	— t
	自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	— t	— t
	(これまでに実施した取組) これまで自社で中間処理を行ったことはない。		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	廃プラスチック	紙くず
	自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	— t	— t
	自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	— t	— t
	(今後実施する予定の取組) 引き続き自社で中間処理を行う予定はない。		

(第3面)

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項			
①現状	【前年度（R4年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	廃石膏ボード	その他がれき類
	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	— t	— t
	(これまでに実施した取組) これまで自社で再生利用をおこなったことはない。		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	廃石膏ボード	その他がれき類
	自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	— t	— t
	(今後実施する予定の取組) 引き続き自社で再生利用を行う予定はない。		
自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項			
①現状	【前年度（R4年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	廃石膏ボード	その他がれき類
	自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	— t	— t
	自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	— t	— t
	(これまでに実施した取組) これまで自社で中間処理を行ったことはない。		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	廃石膏ボード	その他がれき類
	自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	— t	— t
	自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	— t	— t
	(今後実施する予定の取組) 引き続き自社で中間処理を行う予定はない。		

(第3面)

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項			
①現状	【前年度（R4年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	アスコンがら	建設混合廃棄物
	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	— t	— t
	(これまでに実施した取組) これまで自社で再生利用をおこなったことはない。		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	アスコンがら	建設混合廃棄物
	自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	— t	— t
	(今後実施する予定の取組) 引き続き自社で再生利用を行う予定はない。		
自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項			
①現状	【前年度（R4年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	アスコンがら	建設混合廃棄物
	自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	— t	— t
	自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	— t	— t
	(これまでに実施した取組) これまで自社で中間処理を行ったことはない。		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	アスコンがら	建設混合廃棄物
	自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	— t	— t
	自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	— t	— t
	(今後実施する予定の取組) 引き続き自社で中間処理を行う予定はない。		

(第4面)

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項			
①現状	【前年度 (R4年度) 実績】		
	産業廃棄物の種類	廃プラスチック類	紙くず
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	— t	— t
	(これまでに実施した取組) これまで自社で埋立処分または海洋投入を行ったことはない。		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	廃プラスチック類	紙くず
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	— t	— t
	(今後実施する予定の取組) 引き続き自社で埋立処分または海洋投入を行う予定はない。		
産業廃棄物の処理の委託に関する事項			
①現状	【前年度 (R4年度) 実績】		
	産業廃棄物の種類	廃プラスチック類	紙くず
	全処理委託量	0.35 t	2.55 t
	優良認定処理業者への処理委託量	0.35 t	2.55 t
	再生利用業者への処理委託量	0.27 t	2.43 t
	認定熱回収業者への処理委託量	0.00 t	0.00 t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.35 t	2.55 t
	(これまでに実施した取組) 再生利用が可能な品目は全て再生利用ができる処理できる処理業者に委託している。		

(第4面)

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項			
①現状	【前年度（R4年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	廃石膏ボード	その他がれき類
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	— t	— t
	(これまでに実施した取組) これまで自社で埋立処分または海洋投入を行ったことはない。		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	廃石膏ボード	その他がれき類
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	— t	— t
	(今後実施する予定の取組) 引き続き自社で埋立処分または海洋投入を行う予定はない。		
産業廃棄物の処理の委託に関する事項			
①現状	【前年度（R4年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	廃石膏ボード	その他がれき類
	全処理委託量	1.95 t	25.16 t
	優良認定処理業者への処理委託量	1.95 t	25.16 t
	再生利用業者への処理委託量	1.78 t	24.26 t
	認定熱回収業者への処理委託量	0.00 t	0.00 t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	1.95 t	25.16 t
	(これまでに実施した取組) 再生利用が可能な品目は全て再生利用ができる処理できる処理業者に委託している。		

(第4面)

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項			
①現状	【前年度（R4年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	アスコンがら	建設混合廃棄物
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	— t	— t
	(これまでに実施した取組) これまで自社で埋立処分または海洋投入を行ったことはない。		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	アスコンがら	建設混合廃棄物
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	— t	— t
	(今後実施する予定の取組) 引き続き自社で埋立処分または海洋投入を行う予定はない。		
産業廃棄物の処理の委託に関する事項			
①現状	【前年度（R4年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	アスコンがら	建設混合廃棄物
	全処理委託量	5.92 t	8.58 t
	優良認定処理業者への処理委託量	5.92 t	8.58 t
	再生利用業者への処理委託量	5.91 t	7.49 t
	認定熱回収業者への処理委託量	0.00 t	0.00 t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	5.92 t	8.58 t
	(これまでに実施した取組) 再生利用が可能な品目は全て再生利用ができる処理できる処理業者に委託している。		

②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	廃プラスチック類	紙くず
	全処理委託量	0.33 t	2.42 t
	優良認定処理業者への 処理委託量	0.33 t	2.42 t
	再生利用業者への 処理委託量	0.25 t	2.31 t
	認定熱回収業者への 処理委託量	0.00 t	0.00 t
	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処理委託量	0.33 t	2.42 t
	<p>(今後実施する予定の取組)</p> <p>引き続き再生利用ができる業者への委託を行っていく。 また、優良認定処理業者への委託を優先してすすめる。</p>		
※事務処理欄			

②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	廃石膏ボード	その他がれき類
	全処理委託量	1.85 t	23.90 t
	優良認定処理業者への 処理委託量	1.85 t	23.90 t
	再生利用業者への 処理委託量	1.69 t	23.05 t
	認定熱回収業者への 処理委託量	0.00 t	0.00 t
	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処理委託量	1.85 t	23.90 t
	<p>(今後実施する予定の取組)</p> <p>引き続き再生利用ができる業者への委託を行っていく。 また、優良認定処理業者への委託を優先してすすめる。</p>		
※事務処理欄			

②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	アスコンがら	建設混合廃棄物
	全処理委託量	5.62 t	8.15 t
	優良認定処理業者への 処理委託量	5.62 t	8.15 t
	再生利用業者への 処理委託量	5.61 t	7.12 t
	認定熱回収業者への 処理委託量	0.00 t	0.00 t
	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処理委託量	5.62 t	8.15 t
	<p>(今後実施する予定の取組)</p> <p>引き続き再生利用ができる業者への委託を行っていく。 また、優良認定処理業者への委託を優先してすすめる。</p>		
※事務処理欄			

備考

- 1 事業所において常時使用される従業員数が300人以上の製造業者、事業所において常時使用される従業員数が100人以上若しくは資本金（あるいは出資金）の額が5,000万円以上の建設業者、一日当たりの施設能力が30万 m^3 以上の浄水場管理者等又は一日当たりの施設能力が3万 m^3 以上の下水道終末処理場管理者等が事業所ごとに作成すること。
- 2 当該年度の6月30日までに提出すること。ただし、災害その他やむを得ない事由により当該期限内に当該提出をすることができないと認められるときは、市長が定める期限までに提出すること。
- 3 「変更の概要」の欄は、処理計画の内容を変更する場合に記入することとし、その記入に当たっては、変更をした部分について、変更前及び変更後の概要を対照させること。
- 4 「当該事業所において現に行っている事業に関する事項」の欄は、以下に従って記入すること。
 - (1) ①欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。
 - (2) ②欄には、製造業における製造品出荷額（前年度実績）、建設業における元請完成工事高（前年度実績）、医療機関における病床数（前年度末時点）等、業種に応じて事業規模が分かるような前年度の実績を記入すること。
 - (3) ④欄には、当該事業所において生ずる産業廃棄物についての発生から最終処分が終了するまでの一連の処理の工程（当該処理を委託する場合は、委託の内容を含む。）を記入すること。
- 5 「自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、自ら中間処理を行うに際して熱回収を行った場合における熱回収を行った産業廃棄物の量と、自ら中間処理を行うことによって減量した量について、前年度の実績、目標及び取組を記入すること。
- 6 「産業廃棄物の処理の委託に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、全処理委託量を記入するほか、その内数として、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第6条の11第2号に該当する者）への処理委託量、再生利用業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の4の2第1項の認定を受けた者）への処理委託量、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量及び認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量について、前年度の実績、目標及び取組を記入すること。
- 7 それぞれの欄に記入すべき事項の全てを記入することができないときは、当該欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。産業廃棄物の種類が3以上あるときは、前年度実績及び目標の欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、それぞれの欄に記入すべき事項がないときは、「—」を記入すること。
- 8 ※事務処理欄は記入しないこと。

注 様式は日本産業規格A4により作成すること。